



# 井原市民病院 まいづる連携だより

平成 30 年 3 月 19 日

〒715-0019 岡山県井原市井原町 1186 番

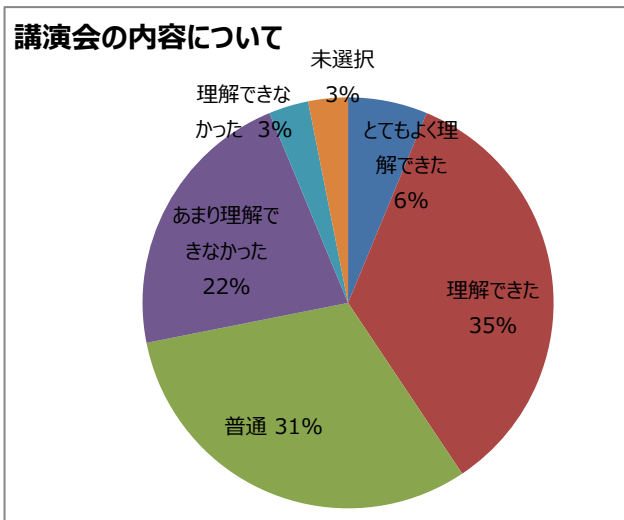
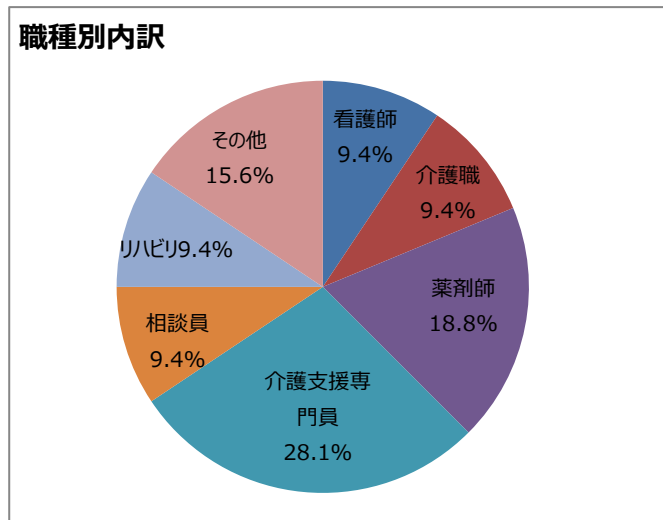
井原市民病院内 地域医療連携室  
TEL.0866-62-1133 連携室直通 FAX.0866-63-2840

## 第 30 回まいづる連携連絡会報告

今回は、川崎医療福祉大学 医療福祉学部 保健看護学科 松本 啓子先生をお招きして「認知症患者を取り巻く家族支援と地域連携のあり方」について講演を賜りました。

少し専門的ではありましたが、専門職連携実践（IPW）と専門職連携教育（IPE）の意義・定義が理解できたのではないのでしょうか。ソーシャルキャピタル（社会関係資本）を高めることにより、より住みやすいまちづくりが可能になり、認知症患者の住み慣れた地域での生活に繋がるということでした。

### 今回の研修会について



#### ～アンケート意見について～

- ・学術的な内容で大変興味深かったです。
- ・「見方を変える」ということが理論的に分かった。
- ・大学の授業としては良いが、現職としては実践的な事やディスカッションの方が良かった。
- ・言葉が難しかった。具体例が知りたかった。
- ・久々に講義を聞いて勉強になった。新鮮でした。
- ・様々な職種の方々の顔が見えとても役立ちました。
- ・地域連携について看護科の教育内容が分かった。
- ・家族の持っている力を支える看護職であるために視野を広げて本人・家族を見る必要があると感じた。

- ・地域連携の考え方を知ることが出来た。
- ・家族の持っている力を支える看護職であるために視野を広げて本人・家族を見る必要があると感じた。
- ・内容が難しく、頭の中で具体的なイメージが出来なかった。事例や具体的な説明が欲しかった。
- ・内容が漠然としていて日常の業務に役立ちそうになかった。
- ・テーマを見て「認知症患者を取り巻く…」とあったので興味を持ち参加したが自分が思っていた内容ではなかったので少し残念だった。事例の紹介を通して具体的な内容であれば身近なものとして学びになったと思います。
- ・今回は基本の基本…専門用語の説明みたいな内容のように感じられました。お話の中に「認知症の家族の会」との交流もあるように言われていたと思うので第2弾としてまた御講義いただければと思います。

多くの感想をいただき、ありがとうございました。



事務局の連絡事項および次回の連絡の案内について

日 時：平成31年6月18（月）18：00～19：00

テーマ： 「ケアキャビネットを活用しよう

～多職種連携で地域包括ケアの推進～

株式会社 両備システムズ ヘルスケア事業部

理学療法室にて開催予定